

子供の居場所づくり事業の検討と令和3年度に向けた取組について

1 報告概要

「教育こども常任委員会 所管事務報告（令和2年3月10日）に対する追加報告」にて、安井小学校への放課後キッズルーム事業（以下、「放課後キッズ」という。）導入見送りと、子供の居場所づくり事業の見直しについて報告しました。

現時点での検討内容と、子供の居場所づくり事業の今後の方向性について報告いたします。

2 事業の経過と課題

(1) 経過（資料「子供の居場所づくり事業 実施校推移」参照）

- ・平成27年度より子供の居場所づくり事業を実施
- ・平成28年度以降、事業メニューを増やしながら事業を拡充
- ・令和元年度、これまでの実施結果を踏まえ、留守家庭児童育成センター（以下、「育成センター」という。）の待機児童対策にもつながるよう運用を見直した放課後キッズを実施
- ・令和2年度、育成センターの増設抑制について想定していた効果が上げられていないこと等から、令和3年度の放課後キッズ拡充の見送りを決定

(2) 課題

- ・一律に放課後キッズに移行させることの妥当性
…学校の実情を個別に考慮することなく、従来の方式も含め全て放課後キッズに移行することについて、見直す必要がある。
- ・放課後キッズの費用対効果
…従来の方式に比べ費用が相当高くなるが、育成センターの増設を抑制させるまでの効果が出ていない。

3. 今後の方向性

(1) CN常駐型の再評価

従来の方式であるCN常駐型は、CNと地域スタッフによるきめ細かな見守りを通して地域全体で子供の成長を支え、地域活性化につながる側面があります。

このCN常駐型の長所を改めて見直し、放課後キッズに一律に移行していくのではなく、学校の実情に応じて継続させます。また令和3年度に、2校程度で拡充することを検討中です。

(2) 放課後キッズとCN常駐型の選択方法について

どちらの方式も、子供たちに自由で自主的な遊び場や学びの場を提供し、たくましい成長を促すことを目的とするという点で違いはありません。

放課後キッズにつきましては、さらに育成センターの待機児童対策や増設抑制、それによる教育環境の保全や財源の捻出を目指しています。そのため、待機児童が発生する見込みがあるかどうかや、育成センターの増設の予定等を考慮した上で、こども支援局とも十分に協議した上で、どちらの方式を導入するか決定いたします。

『放課後キッズとCN常駐型の対比』

	放課後キッズ（現行）	CN常駐型（安井小学校の場合）
開設日	平日（授業日・長期休業期間・振替休業日）	平日（授業日・夏期休業期間）
実施時間	授業日：放課後～午後5時 休業日：午前8時30分～午後5時	授業日：放課後～午後4時30分 （11月～1月は午後4時まで） 夏休み：午前9時～午前11時30分
メリット	・待機児童対策につながる。 ・委託のため事務が省略できる。	・CNによるきめ細かな見守りが期待できる。 ・コミュニティ・スクールにおける熟議を通して地域全体で子供たちの成長を支えることができる。 ・コストは低い。（約650万円）
デメリット	・コストが高い。（約1,300万円） ・育成センターの待機が解消した場合、CN常駐型に転換するのが妥当と考えるが、実施時間が短くなる。継続するには、運営方法見直し等コスト削減が必要。	・直営のため、CNである会計年度任用職員増員が必要。 ・直営のため、CNやサポーターの採用、研修、報酬等の支払業務等が必要である。

（3）放課後キッズ（改良型）の試行

放課後キッズが、より効果的な育成センターの待機児童対策となるよう仕様を修正し、令和3年度にこの改良型を神原小学校と高木北小学校の2校で実施します。

令和4年度の再スタートに向け、上記2校と残りの3校（甲陽園小学校、平木小学校、南甲子園小学校）の実施状況を検証いたします。

～改良の内容～

- ・4月1日スタート
- ・集団下校の実施
- ・学習への動機づけ
- ・長期休業期間中は8時開始
- ・育成センターと放課後キッズの登録を選択制に

（4）全校での実施

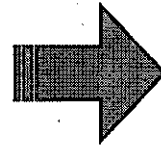
引き続きアンケートを実施する等して子供の居場所づくり事業の検証を行い、こども支援局とも協議しながら、より効果的で総合的な放課後施策の推進を目指します。

将来的に、（2）で述べた選択方法に基づき、全ての学校で放課後キッズ又はCN常駐型での子供の居場所づくり事業を整備できるよう検討します。

子供の居場所づくり事業 実施校推移

平成27年度～令和2年度

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
CN常駐型(屋内+運動場)	安井	安井	安井	安井	安井	安井
	甲東	甲東	甲東	甲東	甲東	甲東
	小松	小松	小松	小松	小松	小松
		深津	深津	深津	深津	深津
		瓦林	瓦林	瓦林	瓦林	瓦林
			上ヶ原南	上ヶ原南	上ヶ原南	上ヶ原南
実施校数	3	5	6	6	6	6
CN常駐型(屋内のみ)		夙川	夙川	夙川	夙川	夙川
		北夙川	北夙川	北夙川	北夙川	北夙川
			今津	今津	今津	今津
実施校数	0	2	3	3	3	3
ルーム型		西宮浜	西宮浜	西宮浜	西宮浜	西宮浜
		春風	春風	春風	春風	春風
			上甲子園	上甲子園	上甲子園	上甲子園
実施校数	0	2	3	3	3	3
学校地域等連携型		南甲子園	南甲子園	南甲子園	南甲子園	
		生瀬	生瀬	生瀬	生瀬	生瀬
		高須	高須			
		上ヶ原南				
		浜脇	浜脇	浜脇		
			苦楽園	苦楽園	苦楽園	苦楽園
			神原	神原		
			大社	大社		
実施校数	0	5	8	6	3	2
放課後キッズ					平木	平木
					高木北	高木北
						甲陽園
						神原
キッズ実施校数	0	0	0	0	2	5
従来方式実施校数	3	14	20	18	15	14
全合計	3	14	20	18	17	19



今後の方向性

	令和〇年度
CN常駐型(屋内+運動場、又は屋内のみ)	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
実施校数	
放課後キッズ	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
	〇〇
キッズ実施校数	
従来方式実施校数	
全合計	41